

同志社大学

2014年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2015年 3月 4日提出

所 属	職 名	氏 名
ビジネス研究科	教授	大久保 隆
研 究 題 目	金融市場の変化と政策の有効性	
研 究 成 果 の 概 要	<p>デフレからの脱却を目指した諸施策は、消費者物価の上昇には寄与しているとみられるが、景気の本格的な回復という点での効果は十分発揮されてきていない。これは、これまでの日本経済における景気低迷状態に対して施された政策効果が今回の局面に対して同じように有効であるかどうかという問題を提起しているとも解釈できる。</p> <p>日本経済の構造変化は、市場の反応雅従来のパターンとは異なってきている可能性を示唆している。本年度の研究は、こうした問題意識に立って、過去における景気低迷時における政策対応とその効果を整理し、足許経済の状況を確認するとともに、実施されている諸施策が期待している効果と、現実の姿を比較対照することに重点を置いて検討を行った。</p> <p>現象面で見ると、諸施策に対する市場の対応は、過去に比べて反応が薄れている可能性が確認されているが、それが、日本経済自体の構造変化に起因するものなのか、あるいは経済のグローバル化や新興国の発展等に伴う国際情勢の変化に起因するものかについては明確な結論を得るまでには至っていない。</p> <p>現段階では、事実関係の確認が中心となっており、経済構造分析を行う理論モデルの検証までには至っていないが、今後経済主体の行動変化を踏まえた形での経済構造を検討するためのモデル分析を含む研究を継続していく予定である。</p>	